

# 「パウロ研究の新しい視点」

から「福音」を問い直す



講演  
I

『パウロ研究』を巡る新しい視点：  
サンダースとダンを中心に

**伊藤明生** 氏 東京基督教大学教授

1958年東京都生まれ。東京大学、東京基督神学校を経て、英国オックスフォード、ウィクリフホールで哲学博士号（Ph.D）を授与。1990年から東京基督教大学に奉職、現在に至る。現在東京基督教大学神学部神学科長。近著に『ガラテヤ人への手紙講解：パウロが語る福音の真理』（いのちのことば社刊）、訳書にS. ポーター、『ギリシャ語新約聖書の語法』（ナザレ企画刊）がある。

講演  
II

ローマ3:21-22  
—新しいパウロ観からの解釈—

**岩上敬人** 氏 イムマヌエル聖宣神学院教授

1968年和歌山県生まれ。関西学院大学を卒業後、イムマヌエル聖宣神学院、アズベリー神学校（M.Div）を経て、マンチェスター大学で哲学博士号（Ph.D）を授与される。その後ジャマイカにあるカリビアン・ウェスレアン・カレッジで教鞭をとる。専門は新約聖書学。近著に『パウロの生涯と聖化の神学』、翻訳書に『ピリピ人への手紙（ティンデル聖書注解）』がある。現イムマヌエル狭山キリスト教会牧師。



『福音の再発見』。キリスト教本屋大賞にノミネートされた本のタイトルです。なるほど福音は「古い物語」ではありますが新しく聞かれる事を常に求めているものでもあります。今回はここ40年来のパウロ研究において不可避、不可欠の課題について新約学のエキスパートの先生方に語って頂きます。来会歓迎です。お茶の水でお会いしましょう。

福音主義神学会東部部会理事長 大坂太郎

6/16月

14:00-17:00（公開研究会）

お茶の水クリスチャンセンター411号室

\*研究会に先立ち、13時から会員を対象にした  
総会を行います。

—この研究会に関するお問い合わせは—

TEL/FAX 042(985)5444

Email:taro\_oosaka@ag-j.or.jp（大坂まで）

**入場  
無料**  
（献金有）